

# 東日本大震災復興活動

## ヒューマンパワーを東日本に！

2012年度は、全国の会員や支援者から寄せられた救援基金をもとに、主に宮城県本吉郡南三陸町への支援物資提供、役職員・ボランティア派遣など、力を結集させて各種活動を継続することができました。

本項では、2013年3月末までの概況をご報告いたします。

### 南三陸町について

宮城県本吉郡南三陸町(みなみさんりくちょう)は、日本の宮城県北東部に位置し、太平洋に面する町です。いわゆる「平成の大合併」における志津川町と歌津町の合併によって2005年(平成17年)に誕生、現在本吉郡に属する唯一の地方公共団体(市町村)となっています。

2011年(平成23年)3月11日、南三陸町は震度6弱(観測地点:歌津地区、志津川地区)を記録しました。更にこの地震が引き起こした大津波は町内の3つの川を逆流し、1960年(昭和35年)のチリ地震による津波の到達地点を越えて内陸深く進入しました。

災害ボランティアセンターが設置された「ベイサイドアリーナ」は志津川、つるし雑講習会場やカフェあづま〜れがある「平成の森(南三陸町社会福祉協議会仮設事務所)」は歌津、桜を植樹した神割崎キャンプ場は戸倉にあります。

◎南三陸町の震災前人口と現在

	震災前	現在
人口	17,666	15,147
男性	8,655	7,432
女性	9,011	7,715
世帯数	5,362	4,847

\*南三陸町HPより(震災前:平成23年2月末、現在:平成25年2月末)



◎震災全体の被害状況

	全国	宮城	南三陸町
死者数	15,882	10,427	614
行方不明者数	2,668	1,302	223
全壊数	128,801	85,259	3,143
半壊数	269,661	152,875	177
一部破損数	738,571	224,050	1,205

\*(情報源)全国:警察庁(2013.3.11)、  
宮城県・南三陸町:宮城県ホームページ(2013.2.28)  
\*上記にはその後発生した余震等の地震の被害を含みます。

### 活動の概況(2013年3月末現在)

活動期間:2011年3月19日～現在

派遣人数:延べ 353人(2012年度152名)

活動日数:延べ 1606日(2012年度396日)

派遣回数:56回(2012年度16回)

活動場所:第1次隊 宮城県仙台市若林区

第2次隊以降 宮城県本吉郡南三陸町

活動拠点:宮城県石巻市内 JHP会員宅

活動実績:ボランティアセンター立ち上げ及び運営、ボランティアセンター活動派遣(写真A)、炊き出し、町内片付け(写真B)、思い出探し隊(写真等の洗浄及び展示)、保育所支援、物資仕分、カフェ移設及び手伝い、養殖種付け及び収穫支援(写真C)、漁協支援(写真D)、つるし雑講習会(写真E)、復興祈念桜植樹(写真G、I)



### プロジェクトの背景

2011年3月11日、日本における観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した東日本大震災により、太平洋沿岸に大津波が発生し甚大な被害をもたらした。JHPでは設立以来、海外の教育支援と国内外の災害救援に取り組み、過去にも類をみないこの惨事に対しても、阪神淡路大震災や中越地震などで救援活動を行った経験を活かし「できることから」活動を継続している。



植木職人より桜植樹の指導を受けるボランティア



### ◎活動の主な経過

月日	主な内容
2011年3月11日	東日本大震災発生。
3月14日	救援活動実施を決定。救援基金開始。
3月19日	第1次隊3名派遣。宮城県仙台市若林区の蒲町小学校避難所に救援物資を届ける。
3月24日	第2次隊4名派遣。翌25日に南三陸町に救援物資を届ける。視察の際に災害ボランティアセンター立ち上げと運営サポートの要請を受け、以後運営スタッフの継続派遣を開始。
4月2日	第5次隊期間中に、企業との連携で炊き出し活動を開始。
5月15日	第11次隊にて小山内代表が南三陸町と若林区を視察。
8月30日	南三陸町での8月隊活動実施。
10月1日	第33次隊にて小山内代表が二度目の南三陸町視察。
10月27日	南三陸町内のカフェ・あづま〜れにJHP支援の防寒・防風シート設置完了。
11月29日	企業からの寄付による杖を届ける。
12月7日	企業からの寄付によるシルバーカーを届ける。
12月20日	災害ボランティアセンター運営サポートの引き継ぎを完了し長期派遣を終了
2012年2月18日	企業から寄贈されたユニットハウスを南三陸町津の宮、水戸辺2か所に設置。
3月12日	協力団体三島RCとの協力で第1回つるし雑講習会実施。
5月17日	南三陸戸倉地区の6ヶ所にユニットハウスを設置。
6月16日	南三陸戸倉地区に9軒のユニットハウス寄贈を完了
7月30日	第2回つるし雑講習会実施
10月21日	第50次隊にて小山内代表が三度目の南三陸町視察(写真F)
11月23日	第1回復興祈念桜植樹実施。神割崎キャンプ場他に135本の桜を植樹(写真G)
12月26日	南三陸町の大自然塾にユニットハウス寄贈(写真H)
2013年3月30日	第2回復興祈念桜植樹実施。依頼を受けた町民宅など170本の桜を植樹(写真I)

### 参加者の感想

震災から1年5ヶ月が過ぎようとしているのに、これが現実かと強く心の中に訴えられた。未曾有の被害を受けた被災地で私達ができる事は、ほんの些細な事かもしれない。しかし、東北の方々の顔を見る度に、ボランティア活動で一人でも多くの人の笑顔が生まれたり、支援の絆、繋がりが広まるきっかけになるのだと確信する事が出来た。だからこそ、私は支援を続けていきたい。  
(第46次隊:福井和美)

桜の木が大きくなるのには時間がかかりますが、希望をもって取り組んでいるボランティアの方の姿を見て、いろいろな支援の方法があると気づかされました。現地の方の「まだ、元の生活には程遠い」という言葉が心に残りました。震災から2年たち、私も意識が薄れていましたが、実際に自分の目で見ないと分からないと感じました。(第56次隊:中溪志)